

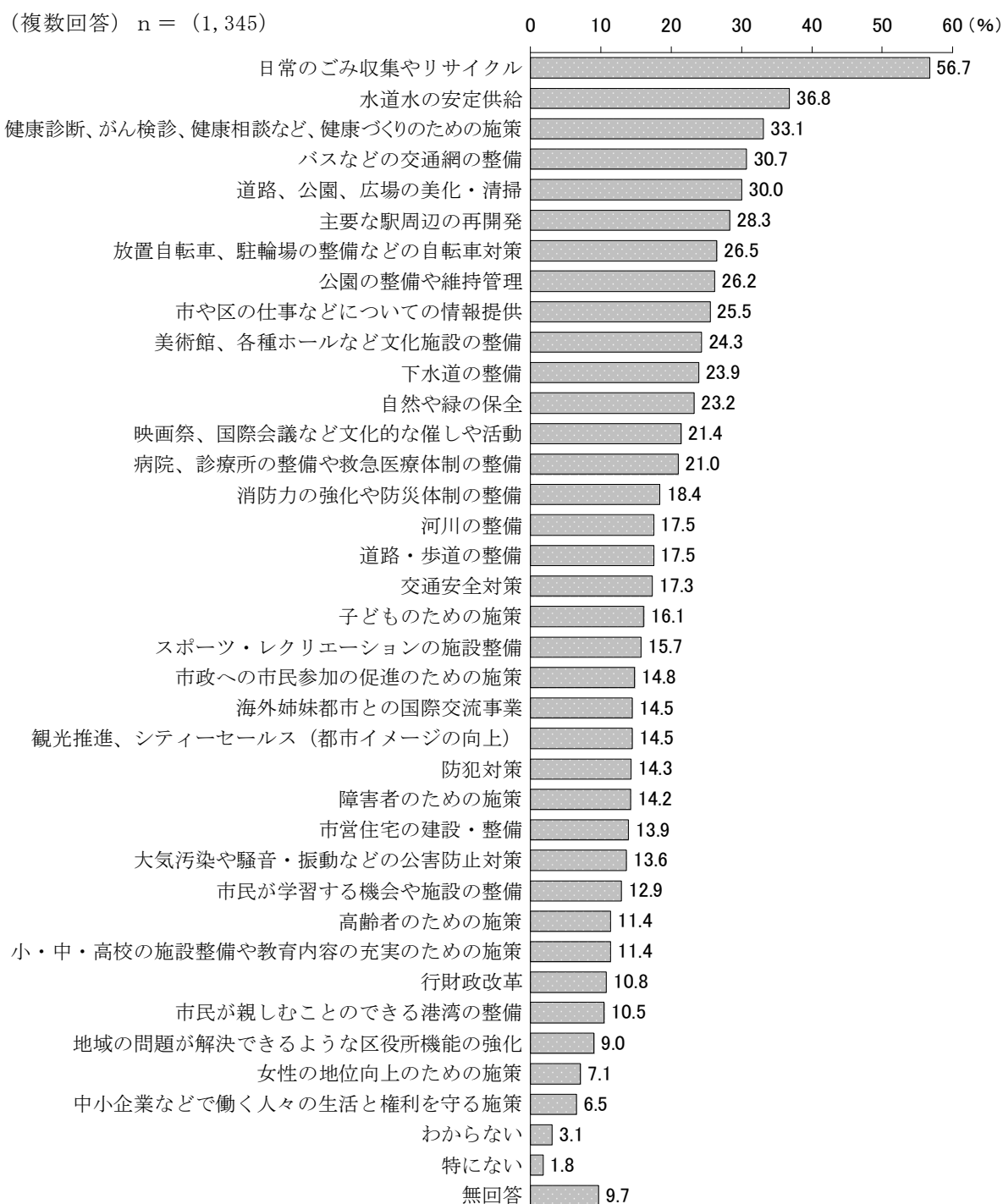
4 市政に対する評価と要望について

4-1 市政の仕事でよくやっていると思うこと

◎「日常のごみ収集やリサイクル」が56.7%

問7 市政について総合的にうかがいます。あなたは、次にあげる仕事の中で、よくやっていると思われるものはどれですか。(あてはまるもの全てに○)

図表4-1 市政の仕事でよくやっていると思うこと



(第2回アンケート)

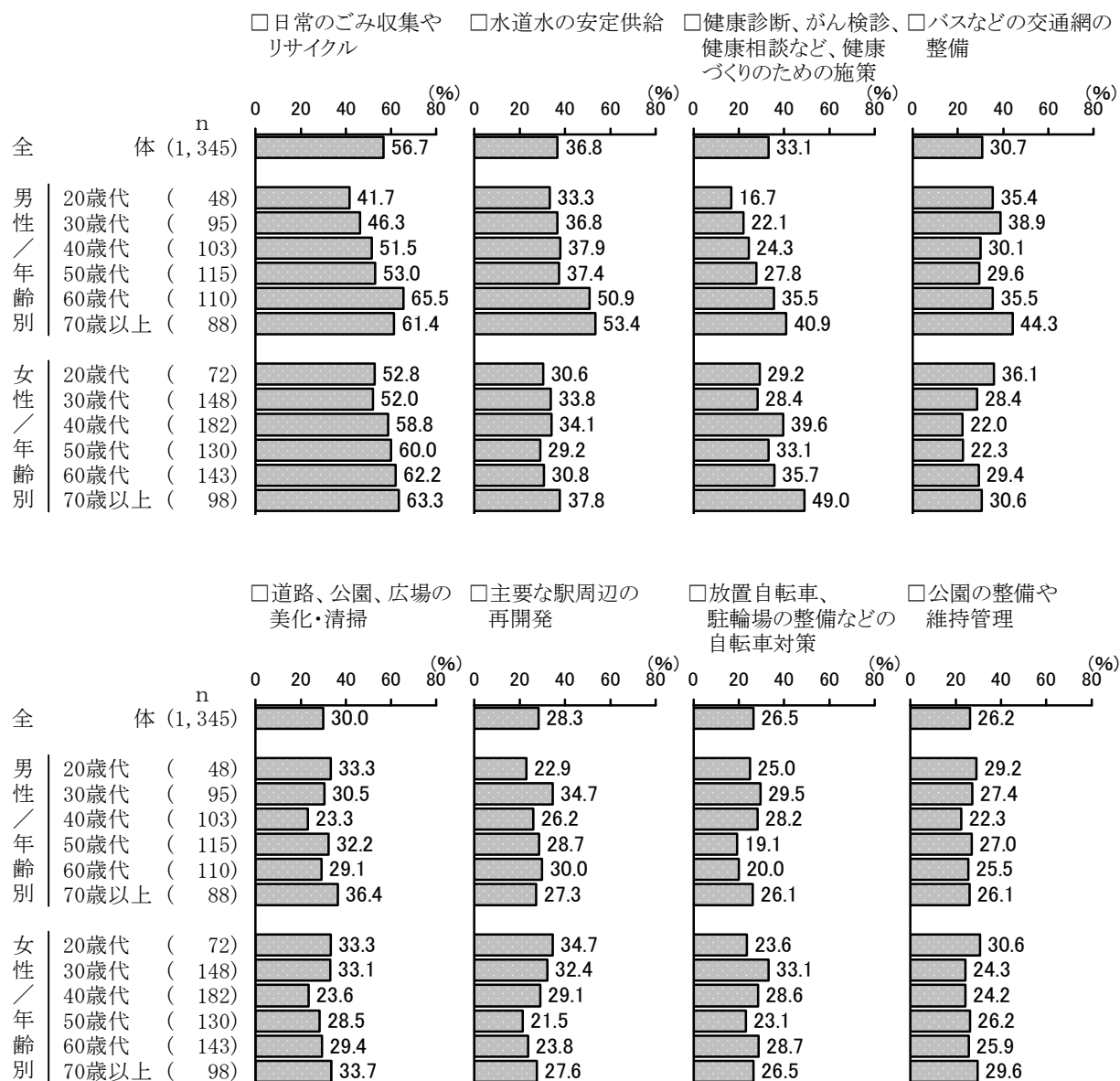
市政の仕事でよくやっていると思うことは、「日常のごみ収集やリサイクル」(56.7%)が最も多く、次いで「水道水の安定供給」(36.8%)、「健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策」(33.1%)、「バスなどの交通網の整備」(30.7%)の順となっています。

図表4-2 市政の仕事でよくやっていると思うこと(前年比較)

	(%)	
	平成26年度 n = (1,345)	平成25年度 n = (1,422)
日常のごみ収集やリサイクル	56.7	43.1
水道水の安定供給	36.8	31.7
健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策	33.1	24.8
バスなどの交通網の整備	30.7	28.4
道路、公園、広場の美化・清掃	30.0	26.7
主要な駅周辺の再開発	28.3	23.8
放置自転車、駐輪場の整備などの自転車対策	26.5	26.4
公園の整備や維持管理	26.2	21.1
市や区の仕事などについての情報提供	25.5	17.0
美術館、各種ホールなど文化施設の整備	24.3	21.9
下水道の整備	23.9	19.5
自然や緑の保全	23.2	19.6
映画祭、国際会議など文化的な催しや活動	21.4	16.0
病院、診療所の整備や救急医療体制の整備	21.0	17.6
消防力の強化や防災体制の整備	18.4	15.7
河川の整備	17.5	15.3
道路・歩道の整備	17.5	14.2
交通安全対策	17.3	14.7
子どものための施策	16.1	10.7
スポーツ・レクリエーションの施設整備	15.7	13.4
市政への市民参加の促進のための施策	14.8	9.6
海外姉妹都市との国際交流事業	14.5	12.7
観光推進、シティーセールス(都市イメージの向上)	14.5	11.3
防犯対策	14.3	12.9
障害者のための施策	14.2	8.5
市営住宅の建設・整備	13.9	11.1
大気汚染や騒音・振動などの公害防止対策	13.6	9.5
市民が学習する機会や施設の整備	12.9	11.5
高齢者のための施策	11.4	11.1
小・中・高校の施設整備や教育内容の充実のための施策	11.4	9.0
行財政改革	10.8	8.4
市民が親しむことのできる港湾の整備	10.5	8.4
地域の問題が解決できるような区役所機能の強化	9.0	6.8
女性の地位向上のための施策	7.1	6.2
中小企業などで働く人々の生活と権利を守る施策	6.5	4.9
わからない	3.1	7.7
特にない	1.8	2.6
無回答	9.7	13.6

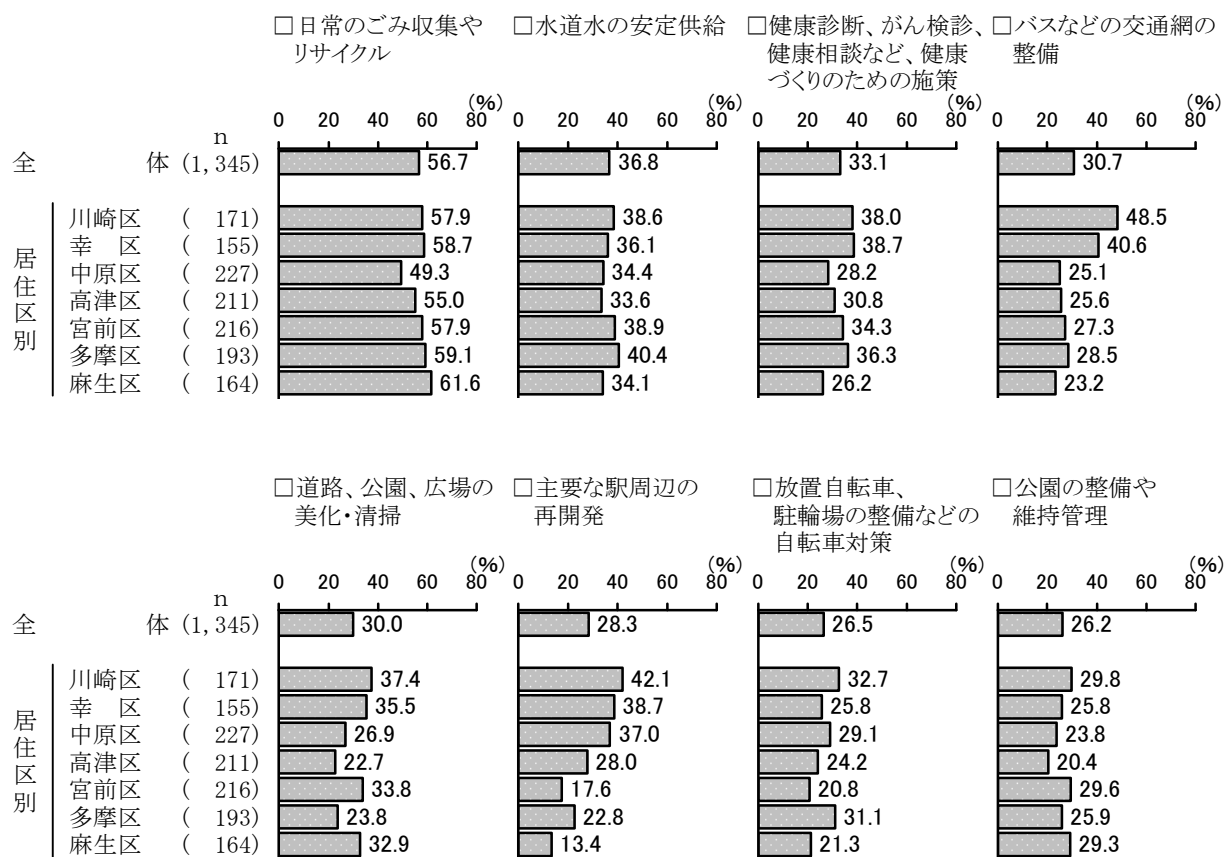
平成25年度調査と比較すると、全ての項目で増加しており、「日常のごみ収集やリサイクル」で13.6ポイント、「市や区の仕事などについての情報提供」で8.5ポイント、「健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策」で8.3ポイント、それぞれ増加しています。

図表4-3 市政の仕事でよくやっていると思うこと（性／年齢別、上位8項目）



性／年齢別では、「日常のごみ収集やリサイクル」は、男女ともにおおむね高い年代ほど多くなる傾向で、男性の60歳代（65.5%）で最も多くなっています。「水道水の安定供給」は、男性の70歳以上（53.4%）、60歳代（50.9%）の順で多くなっています。「健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策」は、男女ともに70歳以上（男性：40.9%、女性：49.0%）で多くなっています。

図表4-4 市政の仕事でよくやっていると思うこと（居住区別、上位8項目）



居住区別では、「日常のごみ収集やリサイクル」は、麻生区（61.6%）で最も多くなっています。「水道水の安定供給」は、多摩区（40.4%）で最も多く、「バスなどの交通網の整備」は、川崎区（48.5%）、幸区（40.6%）で多くなっています。

4-2 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと

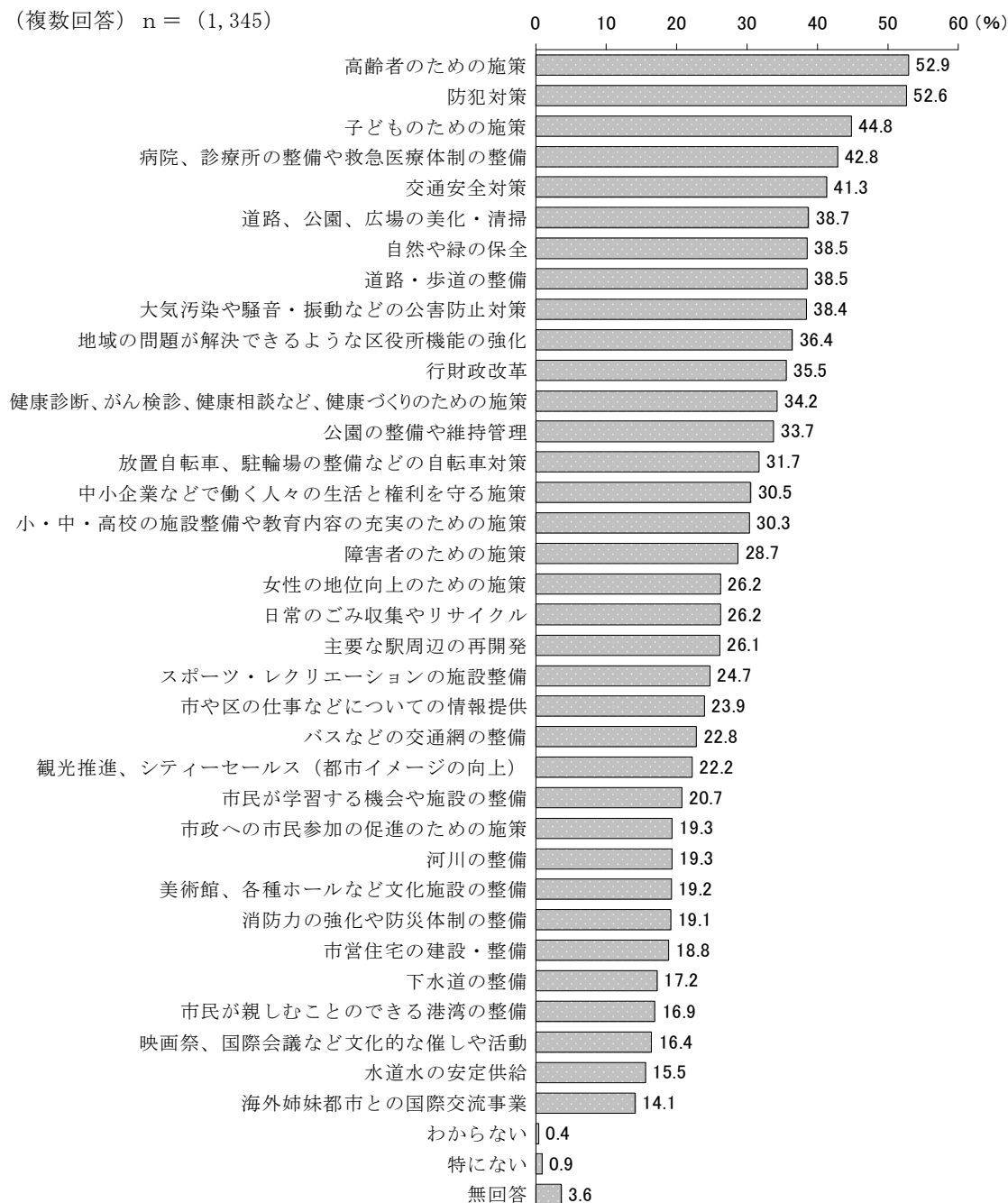
◎「高齢者のための施策」が52.9%、「防犯対策」が52.6%

問8 また、あなたが今後特に力を入れてほしいとお考えのものはどれですか。

(あてはまるもの全てに○)

図表4-5 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと

(複数回答) n = (1,345)



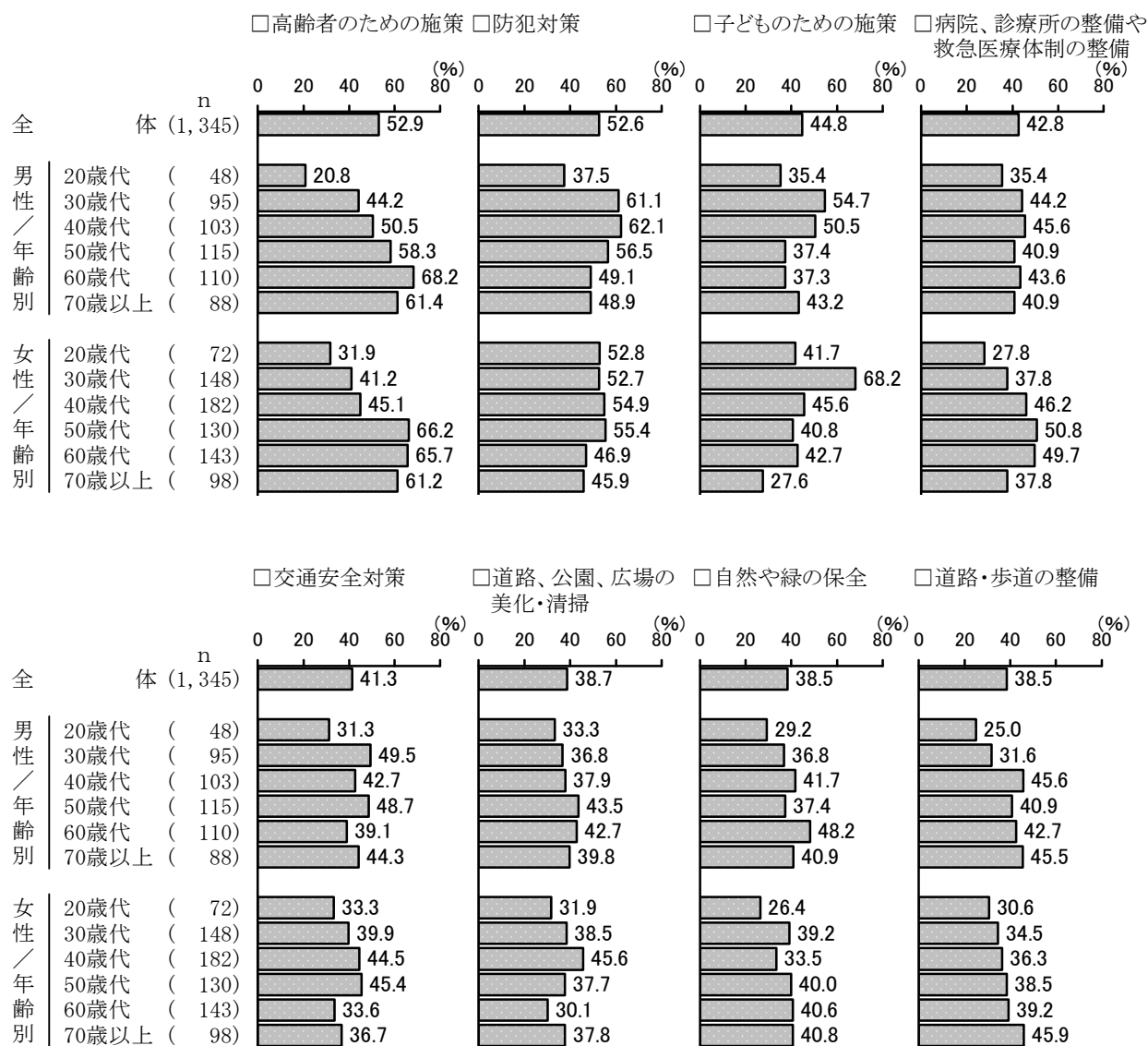
市政の仕事で今後特に力を入れてほしいことは、「高齢者のための施策」(52.9%)が最も多く、次いで「防犯対策」(52.6%)、「子どものための施策」(44.8%)、「病院、診療所の整備や救急医療体制の整備」(42.8%)の順となっています。

図表4-6 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと（前年比較）

	(%)	
	平成26年度 n = (1, 345)	平成25年度 n = (1, 422)
高齢者のための施策	52.9	38.5
防犯対策	52.6	42.8
子どものための施策	44.8	33.2
病院、診療所の整備や救急医療体制の整備	42.8	39.3
交通安全対策	41.3	35.7
道路、公園、広場の美化・清掃	38.7	33.5
自然や緑の保全	38.5	33.0
道路・歩道の整備	38.5	34.8
大気汚染や騒音・振動などの公害防止対策	38.4	37.1
地域の問題が解決できるような区役所機能の強化	36.4	30.0
行財政改革	35.5	30.8
健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策	34.2	27.9
公園の整備や維持管理	33.7	29.3
放置自転車、駐輪場の整備などの自転車対策	31.7	29.0
中小企業などで働く人々の生活と権利を守る施策	30.5	23.6
小・中・高校の施設整備や教育内容の充実のための施策	30.3	28.4
障害者のための施策	28.7	26.6
女性の地位向上のための施策	26.2	18.8
日常のごみ収集やリサイクル	26.2	25.7
主要な駅周辺の再開発	26.1	20.7
スポーツ・レクリエーションの施設整備	24.7	22.4
市や区の仕事などについての情報提供	23.9	21.4
バスなどの交通網の整備	22.8	20.8
観光推進、シティーセールス（都市イメージの向上）	22.2	19.5
市民が学習する機会や施設の整備	20.7	19.1
市政への市民参加の促進のための施策	19.3	16.8
河川の整備	19.3	17.2
美術館、各種ホールなど文化施設の整備	19.2	16.4
消防力の強化や防災体制の整備	19.1	16.8
市営住宅の建設・整備	18.8	16.7
下水道の整備	17.2	14.6
市民が親しむことのできる港湾の整備	16.9	14.7
映画祭、国際会議など文化的な催しや活動	16.4	13.9
水道水の安定供給	15.5	13.8
海外姉妹都市との国際交流事業	14.1	11.8
わからない	0.4	2.7
特にない	0.9	1.5
無回答	3.6	6.3

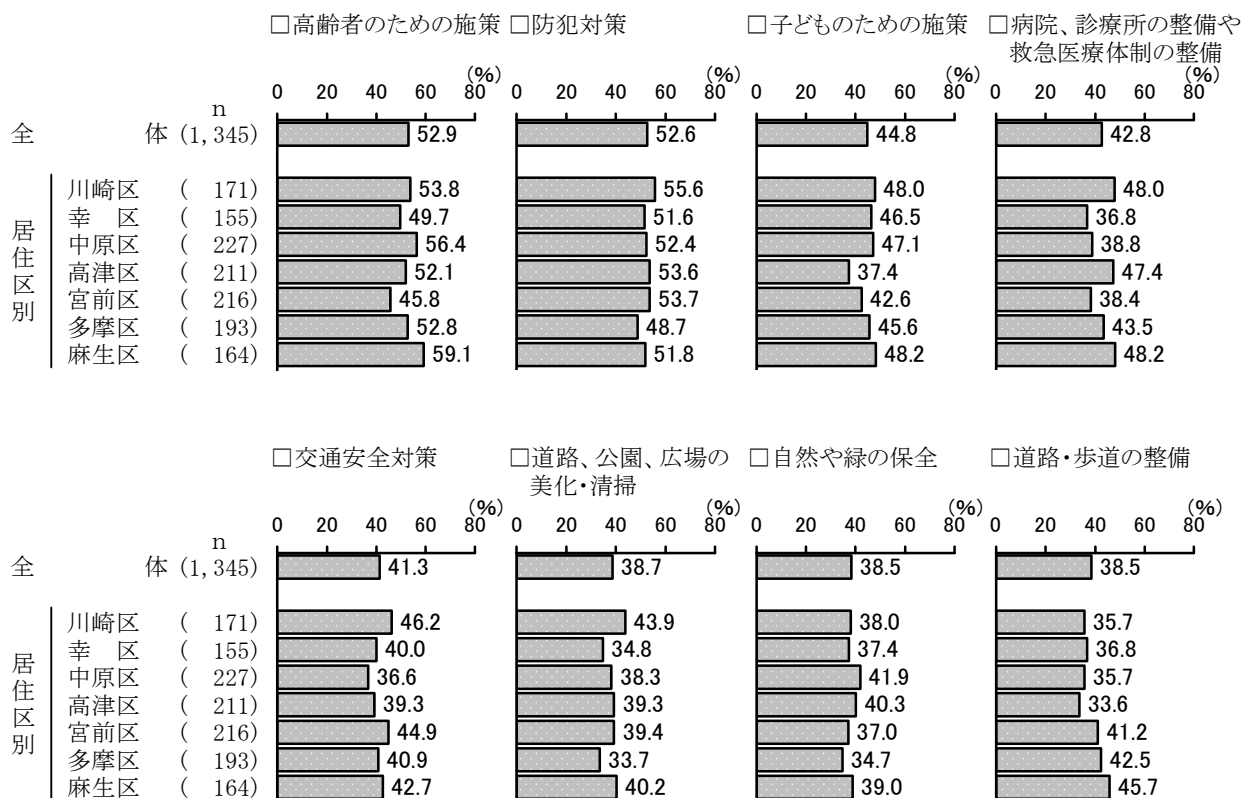
平成25年度調査と比較すると、全ての項目で増加しており、「高齢者のための施策」で14.4ポイント、「子どものための施策」で11.6ポイント、「防犯対策」で9.8ポイント、それぞれ増加しています。

図表4-7 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと（性／年齢別、上位8項目）



性／年齢別では、「高齢者のための施策」は、男性の60歳代以上、女性の50歳代以上の年代で6割台と多くなっています。「防犯対策」は、男性の40歳代（62.1%）、30歳代（61.1%）の順で多くなっています。「子どものための施策」は、男女ともに30歳代（男性：54.7%、女性：68.2%）で多くなっています。

図表4-8 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと（居住区別、上位8項目）



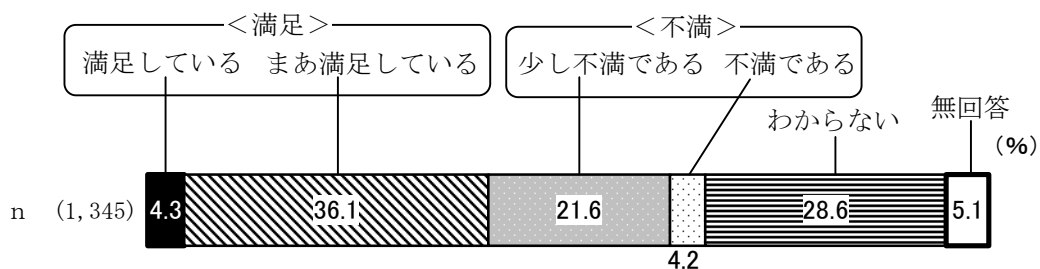
居住区別では、「高齢者のための施策」は、麻生区（59.1%）で最も多くなっています。「防犯対策」は、川崎区（55.6%）で最も多く、「子どものための施策」は、麻生区（48.2%）で最も多くなっています。「病院、診療所の整備や救急医療体制の整備」は、麻生区（48.2%）、川崎区（48.0%）、高津区（47.4%）の順で多くなっています。

4－3 施策や事業の総合的な満足度

◎＜満足＞が40.4%

問9 あなたは、川崎市が進めている施策や事業を総合的に見た場合、どの程度満足していますか。(○は1つだけ)

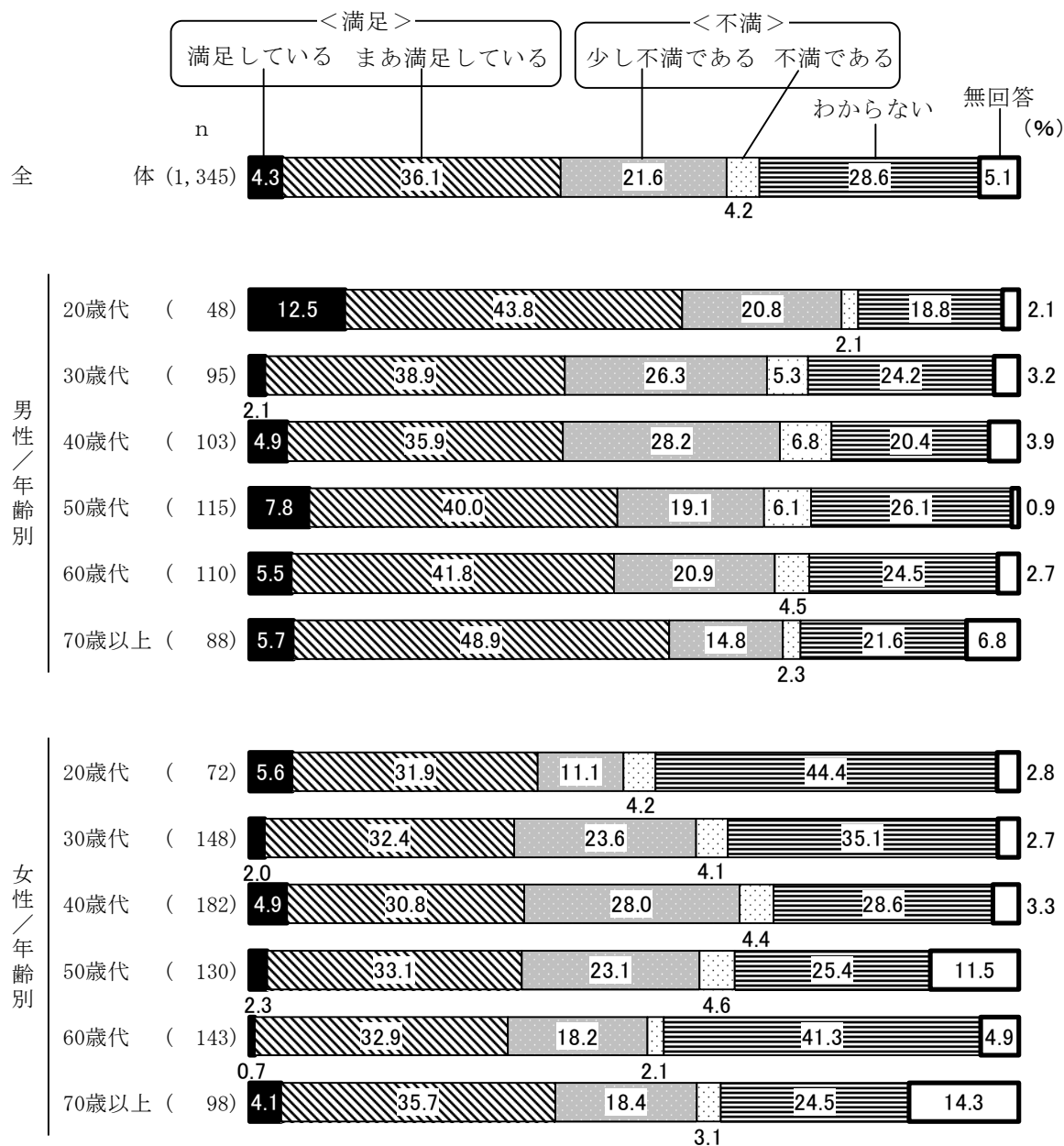
図表4－9 施策や事業の総合的な満足度



施策や事業の総合的な満足度は、「満足している」(4.3%)と「まあ満足している」(36.1%)を合わせた＜満足＞が40.4%となっています。一方「少し不満である」(21.6%)と「不満である」(4.2%)を合わせた＜不満＞は25.8%となっています。

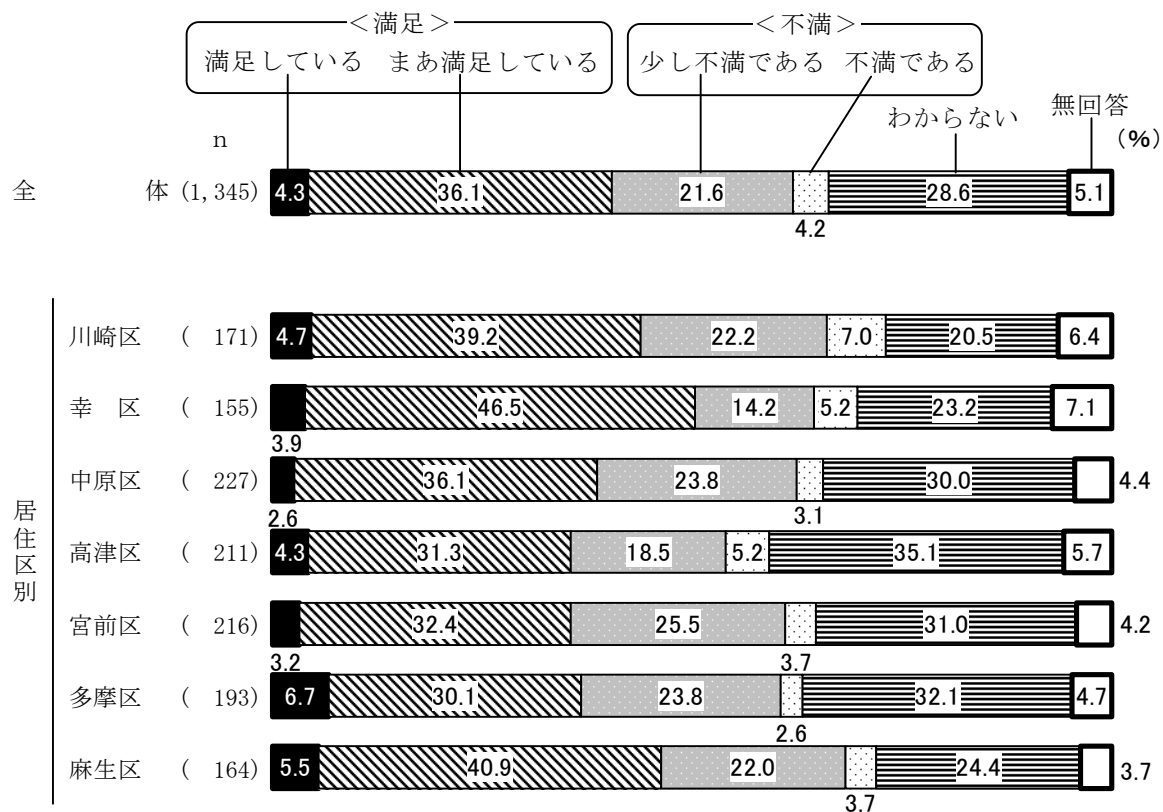
(第2回アンケート)

図表4-10 施策や事業の総合的な満足度（性／年齢別）



性／年齢別では、＜満足＞は、男性の20歳代（56.3%）、70歳以上（54.6%）の順で多くなっています。一方＜不満＞は、男性ともに40歳代（男性：35.0%、女性：32.4%）で多くなっています。

図表4-11 施策や事業の総合的な満足度（居住区別）



居住区別では、＜満足＞は、幸区（50.4%）、麻生区（46.4%）、川崎区（43.9%）の順で多くなっています。一方＜不満＞は、川崎区と宮前区（ともに29.2%）で多くなっています。